

特集

出張!! なんでも意見交換会

部活動指導者

×

教育民生常任委員会

令和4年7月20日実施

「議員と語り合おう 出張!! なんでも意見交換会」
今回は、湯沢市内の中学校で部活動の指導に携わ
っている6名の皆さんから、

「部活動を指導して
感じていること」

について語っていただきました。



少子化の影響で生徒一人一人の負担が大きくなっている

負担軽減につながる環境整備を望む

Q. 部活動の指導に携わって感じていることは?

■ 厳しさを持って指導に当たってほしいとの要望がある一方で、家族のプライベート重視と考えている保護者もおり、部活動に対する考え方の違いを感じている。 ■ 学校活動に時間を取られ、部活動の時間が減少傾向にあり、積み上げていくような練習が難しくなった。 ■ 限られた時間での指導であるため、いかに効率的な指導が出来るかが重要。 ■ 中学の時期は生徒一人一人に色々なことを経験させる

ことが大事。個人差があり、伸びる時期が異なるので、見極めて指導する必要がある。 ■ 授業や部活を含めて有意義な学校生活を送れるように、全ての面で満足して活動できる場や環境整備が必要。 ■ 少子化の影響で部活動の生徒数も減少している状況から、生徒一人一人の役割や責任が重くなり、生徒たちの負担が大きくなっているのではないかと。 ■ 生徒に教える立場である一方、教えられることもある。指導においては厳しさと優しさを持って接することが大事だと思うが、実際やってみると難しい。

◎出張!!なんでも意見交換会にご協力いただきました、湯沢市教育委員会 学校教育課 船山育士課長へインタビューをさせていただきました。

委員長 教育活動における部活動のあり方について、どのように考えていますか?

船山課長 部活動は、責任感、連帯感、学習意欲、友情、人間関係の構築など、将来社会でたくましく生きていくために必要な資質や能力を培う場と捉えています。